

黒川 桜のトンネル

～北区の桜名所 散策マップ～

【御用水跡街園・名城公園・志賀公園など】



御用水跡街園

北 区 桜 の 名 所
ランニングマップも
活用してね!

スマホは
こちらから



黒川友禅流し

黒川 桜のトンネル

～北区の桜名所 散策マップ～

【御用水跡街園・名城公園・志賀公園など】

発 行 / 令和3年2月
北区民まちづくり推進協議会・北区役所

資料提供・協力(敬称略) /
臼井薫、郷地利一、山地英樹

編集協力 / 編集オフィスWill

問い合わせ / 北区役所地域力推進室
〒462-8511
名古屋市北区清水四丁目1番1号
TEL:917-6433 FAX:914-5752

自然が息づく 黒川桜並木

《夫婦橋から城北橋》

約550本

御用水跡街園

御用水は、寛文3年(1663)、庄内川の水を名古屋城内堀に引き入れる目的で掘削された用水路です。辻村用水とも呼ばれ、辻村・東志賀村の南を経て、お城の御深井御庭の東北隅から城内に入り、堀への貯水の水路として大切にされました。昭和47年、夫婦橋から猿投橋までの約1.6kmが埋め立てられ、昭和49年に緑の散歩道として御用水跡街園がつくられました。

黒川の桜

黒川の桜の歴史は、昭和29年11月3日、当時の辻通青年会がソメイヨシノ(本数は不明)を植えたのが始まりです。その後、地域の皆さまや名古屋市などが少しずつ植え、現在、夫婦橋～城北橋間はソメイヨシノや八重桜、山桜など約550本の桜並木となっています。※昭和52年3月、地域の皆さまが辻栄橋から夫婦橋に八重桜(品種名:関山)83本を植樹。

黒川で活動する団体

黒川ドリーム会

黒川をまちの貴重な財産として再認識し、水に親しめる場所、うるおいの感じられる場所にしようと、平成10年3月、設立されました。近隣の小学生や親子参加での黒川生き物観察会や、年数回行われる黒川清掃など、地域の皆さまと黒川を結ぶきっかけをつくる様々な活動を行っています。

ロマン黒川の会

北生涯学習センターで行われた名古屋マスター“夢とロマンの黒川”の参加者を中心に平成21年1月、有志たちで発足しました。現在、様々な自主活動を行っています。



辻栄橋下流

黒川2号橋上流

夫婦橋付近

夫婦橋

昔、黒川と御用水(現在は埋め立てられ、御用水跡街園になっている)は寄り添うように流れていました。当時、2つの川にそれぞれ橋が架けられていたことが、現在の夫婦橋の名前の由来だといわれています。

新堀橋下流

瑠璃光橋

木津根橋上流

猿投橋下流

夫婦橋

キタツコと桜

御用水・黒川・桜の歴史

1663年(寛文3年) 庄内川の水を名古屋城内堀に引き入れる目的で御用水が掘削	1877年(明治10年) 黒川開削(朝日橋～黒川樋門)
1883年(明治16年) 新木津用水改修(大山～名古屋～熱田を結ぶ大水路)	1886年(明治19年) 愛船株式会社創業(大山と名古屋を結ぶ舟「べか舟」を運行)
1902年(明治35年) 名古屋～大山間の定期乗合馬車運行開始	1910年(明治43年) 庄内川から取水するための「元秋樋門」築
1924年(大正13年) 愛船株式会社廃業	1954年(昭和29年) 辻通青年会が黒川に初めてソメイヨシノを植樹(本数不明)
1972年(昭和47年) 御用水(夫婦橋～猿投橋)埋め立て開始	1974年(昭和49年) 御用水跡街園完成
1977年(昭和52年) 三階橋ポンプ所建設に伴い天然プール埋め立て	1980年(昭和55年) 黒川樋門復元
	1983年(昭和58年) 天然プールの碑建立
	1996年(平成8年) 北清水親水広場完成
	1998年(平成10年) 黒川ドリーム会発足
	1999年(平成11年) 上飯田連絡線工事地下黒川に放流
	2001年(平成13年) 金城橋～城北橋中心に桜を植樹
	2004年(平成16年) 「黒川友禅流し」イベントとして復活
	2007年(平成19年) 庄内川暫定導水開始
	2008年(平成20年) 浅層地下水放流開始(辻栄橋左岸)
	2010年(平成22年) 木曽川導水社会実験開始
	2011年(平成23年) 井戸水「清水わくわく水」放流
	黒川友禅流し「第23回名古屋都市景観賞受賞
	黒川ドリーム会 地域環境美化功績者表彰